

## 令和7年度 第1回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和7年7月18日(金) 午前9時00分~午前11時00分
場 所	磐田市役所 本庁舎4階 大会議室
出席委員	委員9名 鈴木 まり子、永野 涼子、伊藤 八重子、山下 元子、久永 公子、 夏目 裕子、松野 裕貴、西藤 正江、藤田 佳宏 ※敬称略
事務局	自治市民部長、ダイバーシティ推進室長、担当2名

### [会議概要摘録]

#### 1 開会

#### 2 委嘱状交付

#### 3 挨拶

#### 4 自己紹介

#### 5 報告事項

(1) 男女共同参画週間の取組について

資料 1

(2) 性の多様性講座について

資料 2

(3) ダイバーシティ推進授業について

資料 3

(4) 男女共同参画プランの数値目標に対する現状

資料 4

#### 6 協議事項

(1) 令和6年度 第3次磐田市男女共同参画プランの結果について

資料 5

(2) 令和7年度 第3次磐田市男女共同参画プランの計画について

資料 6

(主な意見)

・性の多様性に関する理解の促進について、広報展示だけでは不十分に感じる。

・ただ広報するだけでなく、市職員全体が意識共有をした上で市民に発信すれば説得力が高まる。

・自治会長の選出基準について、年齢など選出要件が男性を前提としている自治会も

ある。選出基準を市から提案できないか。

・性別役割分担について、得意なことは人それぞれで、性別にかかわらずそれぞれが個性を發揮し自分にできることをして互いに認め合うのが理想の状態である。自分が持つ「べき論」は人に押し付けるものではない。権利は権利、役割は役割で切り分けて考える必要がある。

・女性の自治会長は「大変」というイメージがあるようだ。相談員制度をつくるのも一つの手だと思う。

・課によって、具体的な実施件数の記載の有無が分かれる。実施件数や参加人数は分析して今後に生かすべきだ。

・指標4の相談窓口案内カードの設置個所数をみると、大幅に増えてはいるものの、そのうち何枚が市民の手にわたり、何枚が実際の相談に結び付いたかというところまで分からなければ実際の効果を測ることは困難だと思料する。

## 7 連絡事項

「第4次磐田市男女共同参画プラン策定スケジュールについて」

## 8 閉会